

平成 24 年度
6 次産業推進中央支援事業
(6 次産業化サポート人材活動対策)

6次産業化サポート人材活動対策

－成果報告書－

平成 25 年 3 月
社団法人食品需給研究センター

－はじめに－

平成 23 年 3 月 1 日に施行された「六次産業化・地産地消法」は、農林水産物等及び農山漁村に存在する土地・水、その他の資源を有効に活用した農林漁業者等による事業の多角化及び高度化(農林漁業者による加工・販売への進出等の「6次産業化」)に関する施策並びに地域の農林水産物の利用の促進に関する施策(「地産地消等」)を総合的に推進することにより、農林漁業等の振興等を図るとともに、食料自給率の向上等に寄与することを目的としています。

これに係る「6次産業総合推進事業(6次産業推進中央支援事業)」では、6次産業化の取組をサポートする人材の育成・紹介や販路拡大の機会を創出する商談会・フェアの開催、6次産業化の推進に関する先進事例調査や研修会の開催、6次産業化の関係者に対するメールマガジン等による情報提供等を実施しました。

食品需給研究センターでは、「6次産業推進中央支援事業」のうち、「6次産業化サポート人材活動対策事業」を実施して参りましたが、これは、農林漁業者等の6次産業化を推進し、農山漁村の雇用の確保と所得の向上を図るため、商品開発、マーケティング等の様々な分野について専門的な知識を有する者等を6次産業化サポート人材として登録し、6次産業化に取り組む農林漁業者等の求めに応じて専門家を紹介する6次産業化サポート人材バンクの設置・運営を行うこと。さらに6次産業化に関する取組において、認定総合化事業計画又は認定農商工等連携事業計画の取組を支援するため、現地に6次産業化サポート人材を派遣し、地域における様々な課題に対する指導・助言等を行うことを目的として実施したものです。この報告書は、6次産業推進中央支援事業(6次産業化サポート人材活動対策)の成果を取りまとめ、事業の報告を行うものです。

本書は、当センターが運営する『6次産業化サポート人材(6さぼ)バンク』のホームページにて、その全文を掲載しております。今後の6次産業化の推進の資料として有効に活用していただければ幸甚です。

平成 25 年 3 月

社団法人 食品需給研究センター

－ 目 次 －

1. 検討委員会の開催.....	3
2. 6次産業化サポート人材バンクの設置・運営.....	5
3. 6次産業化サポート人材活動支援.....	18

【事業の実施概要】

(1) 検討委員会の開催

検討委員会を開催し、6次産業化サポート人材活動支援の実施に係る課題整理、企画検討、取りまとめ等を行うとともに、6次産業化サポート人材バンクへの登録等について検討を行った。

○委員数：国内有識者及び実務者7名

○開催数：4回

第1回検討委員会 平成24年9月4日

第2回検討委員会 平成24年10月11日

第3回検討委員会 平成24年12月14日

第4回検討委員会 平成25年3月11日

(2) 6次産業化サポート人材バンクの設置・運営

昨年度の商品開発、マーケティング等の専門家に加えて、今年度は輸出、金融等の専門家を追加登録し、さらに、登録を希望する全国の6次産業化プランナー及びボランティア・プランナーも合わせて登録することにより、6次産業化に取り組む農林漁業者等の求めに応じて専門家を紹介する6次産業化サポート人材バンクの設置・運営を行った。

○6次産業化サポート人材バンクのWebサイトL

・URL：<http://www.fmric.or.jp/6sapobank/>

○6次産業化サポート人材バンクのリニューアル稼働日

・稼働日：平成24年10月24日

○バンク登録の結果（平成25年3月31日現在）

・登録者：1,182人

（6次産業化プランナー612人、ボランティア・プランナー409人、

6次産業化サポート人材311人）

○バンクの成果（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

・アクセス数：累計90,196PV（ページビュー）（1ヶ月平均7,516PV）

(3) 6次産業化サポート人材活動支援プログラム

6次産業化に関する取組において、認定総合化事業計画又は認定農工商等連携事業計画の取組を支援するため、また、新たに認定を受ける予定の取組を支援するため、現地に6次産業化サポート人材を派遣し、地域における様々な課題に対する指導・助言等を行った。

- 派遣サポート人材：上野祐子
 - <http://www.fmic.or.jp/6sapobank/person.php?p=264>
 - ・派遣先：A社（鹿児島県）
 - ・指導分野：マーケティング
 - ・派遣日：平成25年3月4日
- 派遣サポート人材：橋本祐充子
 - <http://www.fmic.or.jp/6sapobank/person.php?p=202>
 - ・派遣先：A社（鹿児島県）
 - ・指導分野：農家レストラン
 - ・派遣日：平成25年3月11日～12日
- 派遣サポート人材：野本功司
 - <http://www.fmic.or.jp/6sapobank/person.php?p=290>
 - ・派遣先：B社（鹿児島県）
 - ・派遣日：平成25年3月4日
 - ・指導分野：輸出
- 派遣サポート人材：加藤寛昭
 - <http://www.fmic.or.jp/6sapobank/person.php?p=31>
 - ・派遣先：B社（鹿児島県）
 - ・指導分野：マーケティング
 - ・派遣日：平成25年3月13日
- 派遣サポート人材：佐藤芳範
 - <http://www.fmic.or.jp/6sapobank/person.php?p=162>
 - ・派遣先：B社（鹿児島県）
 - ・指導分野：機能性食品の開発
 - ・派遣日：平成25年3月18日
- 派遣サポート人材：西浦嗣晴
 - <http://www.fmic.or.jp/6sapobank/person.php?p=75>
 - ・派遣先：C社（香川県）
 - ・指導分野：意匠登録・商標登録
 - ・派遣日：平成25年2月23日
- 派遣サポート人材：田中敏夫
 - <http://www.fmic.or.jp/6sapobank/person.php?p=69>
 - ・派遣先：D社（山口県）
 - ・指導分野：商品開発
 - ・派遣日：平成25年3月23日
- 派遣サポート人材：岸本純子
 - <http://www.fmic.or.jp/6sapobank/person.php?p=35>
 - ・派遣先：E社（兵庫県）
 - ・指導分野：商品開発
 - ・派遣日：平成25年3月27日～28日

1. 検討委員会の開催

6次産業化サポート人材活動対策検討委員会

6次産業化サポート人材活動支援の実施に係る課題整理、企画検討、取りまとめ等を行うとともに、6次産業化サポート人材バンクへ登録の審査等を行うことを目的とした「6次産業化サポート人材活動対策検討委員会」を設置した。

6次産業化サポート人材活動対策検討委員会

加藤 寛昭 食と農研究所 代表(中小企業診断士)

亀山 初美 NPO 法人農幸生活 代表理事

紺野 和成 日本政策金融公庫 農林水産事業本部 事業本部長付 企画役

○櫻井 清一 千葉大学大学院 園芸学研究科 教授

西浦 嗣晴 西浦特許事務所 所長(弁理士)

花田 美香 独立行政法人日本貿易振興機構 農林水産・食品部 農林水産・食品企画課長

松本 譲 株式会社ファーマーズ・フォレスト 代表取締役社長

五十音順、○印は座長

検討委員会の開催と検討議題

第1回 検討委員会

日時：平成24年9月4日(火) 13:30～16:30

場所：東京国際フォーラム G603 会議室

議事：事業全体の計画検討および実施承認

①6次産業化サポート人材バンクの新規採録方法について

②6次産業化サポート人材活動支援の実施方法について (出席者:7名)

第2回 検討委員会

日時：平成24年10月11日(木)13:30～16:30

場所：フクラシア東京ステーション 5F 1室

議事：事業の実施検討

①6次産業化サポート人材バンクの新規採録状況

②6次産業化サポート人材活動支援の実施検討 (参加者:5名)

第3回 検討委員会

日 時：平成24年12月14日(金)13:30～16:30

場 所：東京国際フォーラム G607 会議室

議 事：事業の中間報告

①6次産業化サポート人材バンクの採録状況 中間報告

②6次産業化サポート人材活動支援の実施状況 中間報告 (出席者:6名)

第4回 検討委員会

日 時：平成25年3月11日(月)13:30～16:30

場 所：東京国際フォーラム G607 会議室

議 事：事業の報告

①6次産業化サポート人材バンクの設置・運営の成果

②6次産業化サポート人材活動支援の成果 (出席者:7名)

2. 6次産業化サポート人材バンクの設置・運営

(1) 6次産業化サポート人材バンクの設置

➤ 6次産業化サポート人材バンク（6さぼバンク）

6次産業化サポート人材バンク(6さぼバンク)は、平成23年9月1日より稼働した専門家(6次産業化サポート人材)を採録した人材バンクである。今年度はこれまでの商品開発、マーケティング等の専門家に加えて、輸出、金融等の専門家を追加登録し、さらに、登録を希望する全国の6次産業化プランナー及びボランタリー・プランナーも合わせて登録することにより、6次産業化に取り組む農林漁業者等の求めに応じて専門家を紹介した。平成24年10月24日にリニューアルした。

採録されている人材区分としては、6次産業化プランナーが612名、ボランタリー・プランナーが409名、6次産業化サポート人材が311名となっており、全体で1,182名である(複数の人材区分で登録されているものを含むためそれぞれの合計とは一致しない)。

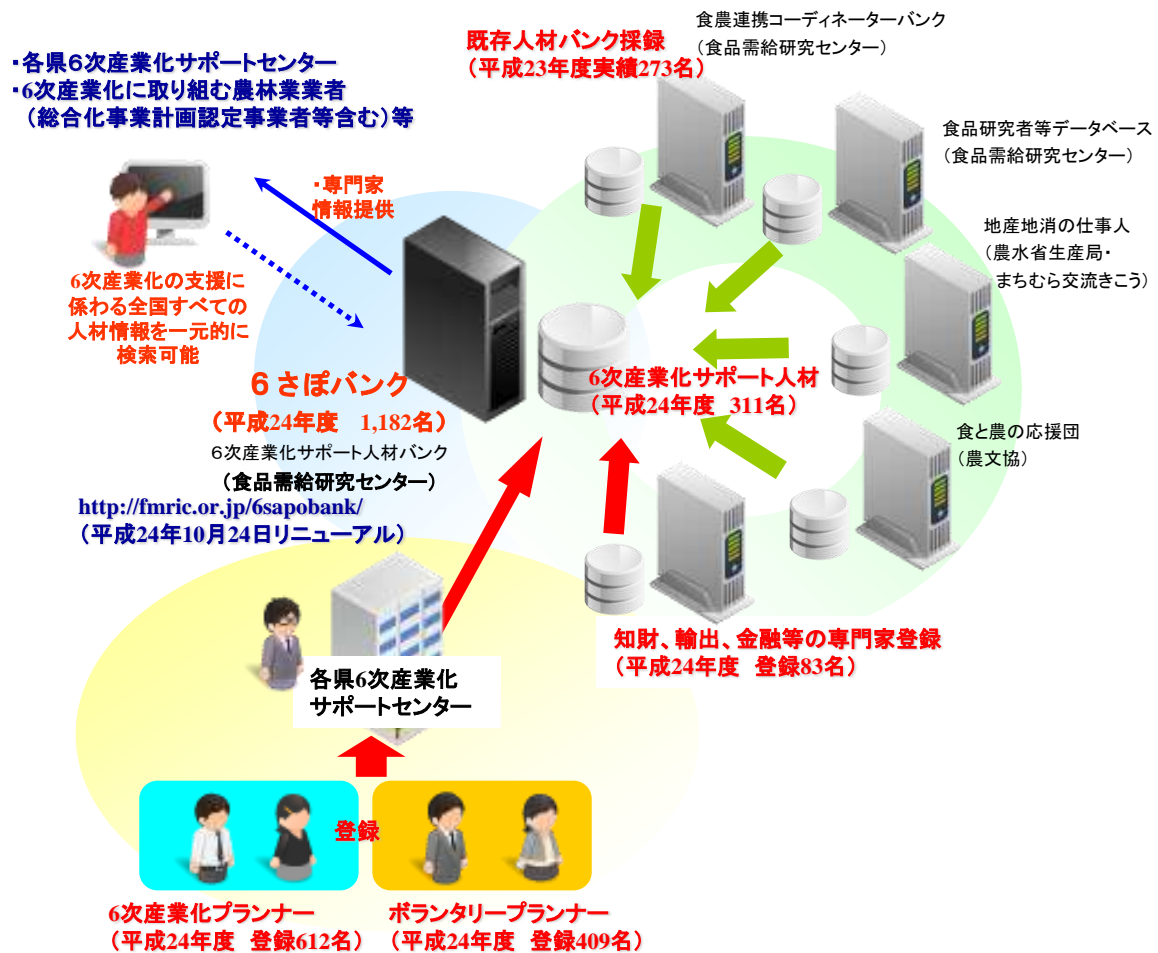


図 2-1 6次産業化サポート人材バンク(6さぼバンク)のイメージ

➤ 6次産業化サポート人材バンク（6さぼバンク）のサイトマップ

6次産業化サポート人材バンク(6さぼバンク)のサイトマップは、以下のとおりとなっている。

まず、トップページに「専門家をさがす」検索画面が設定されており、登録者の「活動可能な地域」、「職業区分」、「専門分野」、「人材区分」、「キーワード」による検索が可能である。

専門家の検索以外では、「6さぼバンクとは?」として「6さぼバンクとは」、「6さぼバンクの規約」、「その他の人材バンク一覧」、「事務局連絡先」の情報を提供。

さらに、「6次産業化とは」として「6次産業化の概要」、「サポートセンターの連絡先」、「6次産業化プランナー一覧」、「ボランティア・プランナー一覧」、「農林水産省、農政局の連絡先一覧」といった情報を提供。

また、「参考資料」として外部へのリンクとして、「第6チャンネル((株)アール・ピー・アイ)」、「6次産業化先進事例集【100事例】(農林水産省、平成23年4月)」、「6次産業化先進事例集【123事例】(農林水産省、平成22年6月)」、「ボランティア・プランナー一覧(農林水産省HP)」の情報を提供。

さらに、昨年度に実施した事業について「プロジェクト実績」として「プロジェクト実績」、「活動プログラム実績」の情報を提供している。

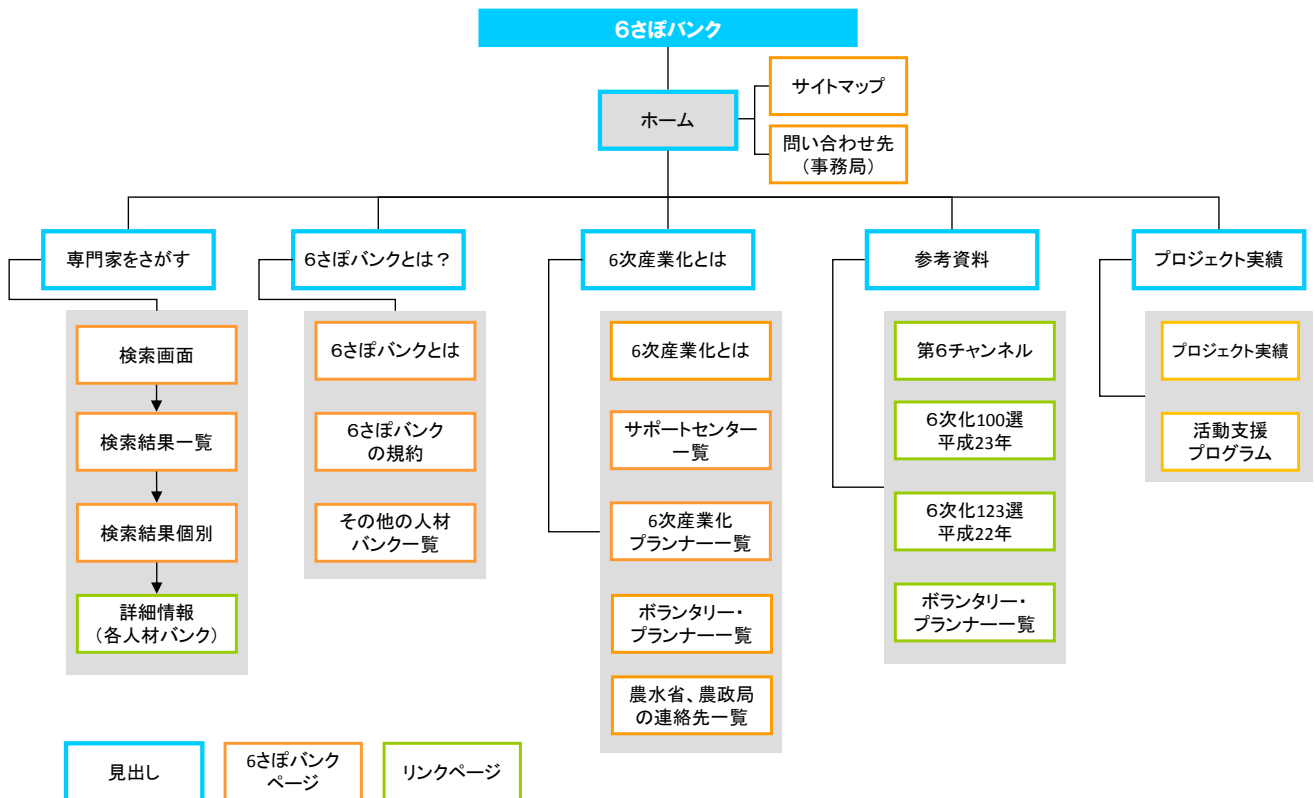


図 2-2 6次産業化サポート人材バンク(6さぼバンク)のサイトマップ

➤ 6次産業化サポート人材（6さぼ）バンクの専門分野区分

専門分野は大きく分けて「事業推進」、「農業生産」、「技術」、「開発・製造」、「販売」、「関連産業」、「消費者コミュニケーション」、「その他」の8つの分野となっており、さらに詳細な28分野に区分した。今年度は、「その他」として「生活改善」、「異業種連携」、「労務管理」の3分野を追加した。

表 2-3 6次産業化サポート人材の専門分野区分

事業推進	事業推進マネジメント
	地域活性化
農業生産	農業生産機械・施設
	種苗・育種、肥料・飼料
	地域資源の利活用
	地産地消
技術	産学官連携
	食品の機能性等評価・分析
開発・製造	知的財産の利活用
	新商品の開発
	食品の製造・加工・工程管理
販売	マーケティング戦略
	デザイン・広報戦略
	ブランド戦略
	販路開拓(スーパー・量販店)
	販路開拓(直売所・ネット通販)
	販路開拓(中食・外食)
	輸出
関連産業	バイオマス
	金融
	メディア
消費者コミュニケーション	食の安全・安心
	調理・食育
	都市と農村の交流
	観光
その他	生活改善
	異業種連携
	労務管理

➤ 6次産業化サポート人材（6さぼ）バンクの検索項目

6次産業化サポート人材(6さぼ)バンクは、登録者の「活動可能な地域区分」、「職業区分」、「専門分野区分」、「人材区分」、「キーワード」の5つ項目により検索できる。

登録者の「活動可能な地域区分」は都道府県単位で、複数選択が可能である。「職業区分」は 19 種類のうち1件のみ選択可能である。昨年度から新たに「公認会計士・税理士」の区分を追加した。

表 2-4 6次産業化サポート人材の検索区分(活動可能な地域区分、職業区分)

活動可能な地域区分				職業区分	
1	北海道	25	滋賀県	1	コンサルタント
2	青森県	26	京都府	2	大学・研究機関
3	岩手県	27	大阪府	3	行政・公的支援機関
4	宮城県	28	兵庫県	4	農林水産業
5	秋田県	29	奈良県	5	食品製造業
6	山形県	30	和歌山県	6	食品卸・小売業
7	福島県	31	鳥取県	7	外食
8	茨城県	32	島根県	8	農業関連産業(機械、種苗、肥料、飼料等)
9	栃木県	33	岡山県	9	食品関連産業(機械、装置等)
10	群馬県	34	広島県	10	物流
11	埼玉県	35	山口県	11	広告・デザイン
12	千葉県	36	徳島県	12	金融
13	東京都	37	香川県	13	メディア
14	神奈川県	38	愛媛県	14	弁理士
15	新潟県	39	高知県	15	技術士
16	富山県	40	福岡県	16	公認会計士・税理士
17	石川県	41	佐賀県	17	料理研究家・フードコーディネーター
18	福井県	42	長崎県	18	観光
19	山梨県	43	熊本県	19	その他
20	長野県	44	大分県		
21	岐阜県	45	宮崎県		
22	静岡県	46	鹿児島県		
23	愛知県	47	沖縄県		
24	三重県				

「専門分野区分」は 28 種類のうち複数選択が可能である。昨年度から新たに「生活改善」、「異業種連携」、「労務管理」の 3 つを追加した。さらに、今年度から新たに6次産業化プランナー、ボランティア・プランナーも登録することとなったため「人材区分」を追加した。3 つから 1 つのみ選択可能である。また、「キーワード」検索はサポート人材の氏名や所属先等をテキスト入力することにより検索が可能である。

6次産業化サポート人材(6さぽ)バンクでは、上記の 5 つの項目を組み合わせた検索を行うことができる。

表 2-4 6次産業化サポート人材の検索区分(専門分野、人材区分)

専門分野区分		人材区分	
1	事業推進マネジメント	1	6次産業化プランナー
2	地域活性化	2	ボランティア・プランナー
3	農業生産機械・施設	3	6次産業化サポート人材
4	種苗・育種、肥料・飼料		
5	地域資源の利活用		
6	地産地消		
7	産学官連携		
8	食品の機能性等評価・分析		
9	知的財産の利活用		
10	新商品の開発		
11	食品の製造・加工・工程管理		
12	マーケティング戦略		
13	デザイン・広報戦略		
14	ブランド戦略		
15	販路開拓(スーパー・量販店)		
16	販路開拓(直売所・ネット通販)		
17	販路開拓(中食・外食)		
18	輸出		
19	バイオマス		
20	金融		
21	メディア		
22	食の安全・安心		
23	調理・食育		
24	都市と農村の交流		
25	観光		
26	生活改善		
27	異業種連携		
28	労務管理		

➤ 6次産業化サポート人材バンク（6さぽバンク）の検索イメージ

①検索画面（トップページ）

6さぽバンク 農山漁村の6次産業化を変える専門家集団
6次産業化サポート人材バンク

6さぽバンクは、食と農のつながりによる地域の取組みを、人と人のつながりでサポートしていきます。

6さぽバンクで専門家をさがす

活動可能な地域でさがす

- 北海道 北海道
- 東北 青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島
- 関東 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 山梨 長野 静岡
- 北陸 新潟 富山 石川 福井
- 東海 岐阜 愛知 三重
- 近畿 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山
- 中国四国 鳥取 島根 岡山 広島 山口 徳島 香川 愛媛 高知
- 九州 福岡 佐賀 長崎 熊本 大分 宮崎 鹿児島
- 沖縄 沖縄

職業区分でさがす

コンサルタント

専門分野でさがす

- 事業推進マネジメント
- 地域活性化
- 農業生産増産・施設
- 種苗・育苗、肥料・飼料
- 地域資源の利活用
- 地産地消
- 産学官連携
- 食品の機能性等評価・分析
- 知的財産の利活用
- 新商品の開発
- 食品の製造・加工・工程管理
- マーケティング戦略
- デザイン・広報戦略
- ブランド戦略
- 販路開拓（スーパー・量販店）
- 販路開拓（直売所・ネット通販）
- 販路開拓（中食・外食）
- 輸出
- バイオマス・再生エネルギー
- 金融
- メディア
- 食の安全・安心
- 調理・食育
- 都市と農村の交流
- 観光
- 生産改善
- 異業種連携
- 労務管理

人材区分でさがす

6次産業化サポート人材

未選択

6次産業化プランナー

ボランティアプランナー

6次産業化コーディネーター

キーワード例：農産物、水産物、直売所、レストラン、パッケージなど

②検索結果一覧画面

[HOME](#)

6次産業化サポート人材バンク

6さぼバンク

6さぼバンクとは
6次産業化とは
6次産業化推進のための参考資料
プロジェクト実績

[サイトマップ](#) | [お問い合わせ](#)

HOME > 検索結果

検索結果

検索結果：18件 該当

活動地域	氏名	所属	職業区分	専門分野
全国	五日市知香	パイロットフィッシュ	コンサルタント	新商品の開発 マーケティング戦略 デザイン・広報戦略 ブランド戦略 異業種連携
全国	尾形憲子	有限会社ティップス	コンサルタント	新商品の開発 マーケティング戦略 地域資源の利活用
全国	鳥巢研二	株式会社キースタッフ	コンサルタント	地域活性化 新商品の開発 食品の製 造・加工・工程管理 マーケティング 戦略
全国	大石茂弘	有限会社ピ・ムーブ	コンサルタント	新商品の開発 マーケティング戦略 ブランド戦略
全国	小倉朋子	株式会社トータルフ ード	コンサルタント	新商品の開発 マーケティング戦略 調理・食育
全国	加藤瑠一	株式会社アルマ経営 研究所	コンサルタント	新商品の開発 食品の製造・加工・工 程管理 マーケティング戦略
全国	草間亨	アルファ経営コンサル タンツ事務所	コンサルタント	地域資源の利活用 新商品の開発 ブ ランド戦略
全国	清水貴裕	株式会社都デザイン	コンサルタント	地域資源の利活用 新商品の開発 デ ザイン・広報戦略
全国	高尾倫弘	日本農産物流通研究 所	コンサルタント	地域資源の利活用 新商品の開発 販 路開拓（中食・外食）
全国	田中章雄	株式会社ブランド総 合研究所	コンサルタント	新商品の開発 デザイン・広報戦略 ブランド戦略

[検索TOPへ戻る](#)
[next](#)

③検索結果画面（個別ページ）

6次産業化サポート人材バンク
HOME

6さぽバンク

6さぽバンクとは

6次産業化とは

6次産業化推進のための参考資料

プロジェクト実績

[サイトマップ](#) | [お問い合わせ](#)

[HOME](#) > [加藤寛昭 さんのデータ](#)

加藤寛昭 さんのデータ

名前（ふりがな）	加藤寛昭（かとう ひろあき）
人材区分	ボランティア・プランナー、6次産業化サポート人材
所属	食と農研究所
役職	代表/中小企業診断士
登録している都道府県	千葉県
活動可能な地域	全国
職業区分	コンサルタント
専門分野	事業推進マネジメント、地域活性化、地域資源の利活用、地産地消、産学官連携、異業種連携、ブランド戦略、販路開拓（スーパー・量販店）、販路開拓（直売所・ネット通販）、販路開拓（中食・外食）、知的財産の利活用、マーケティング戦略、デザイン・広報戦略、食品の製造・加工・工程管理、都市と農村の交流、
活動実績、講演、著書等	<p>教育・講演活動：農商工連携や6次産業化推進のための講演活動やその為の人材育成事業で活動中（平成22年度約90件）。工業と農業での実務経験があり、農・商工双方の立場からの複眼的思考で対応できるのが強み</p> <p>食料産業クラスター機能高度化支援事業における、地域食品商品改善支援、地域食品製造業支援施策・食品製造企業診断実施（平成22年度34社）</p> <p>地域食品ブランド育成・管理支援事業におけるコーディネート、ブラッシュアップび販路拡大の支援（干し柿・岐阜、味噌・三重県、緑茶・三重県、漬物・熊本・北海道、乳製品・群馬、トマトジュース北海道他）</p> <p>中山間地域等の活性化を狙いとした直売所の設立、事業企画策定支援（群馬県、兵庫県、静岡県、千葉県他）</p> <p>地域活性化事業の取組：熊本県Y町の生き残り戦略や、奄美大島における黒豚プロジェクト推進に向けたランドデザイン構築・展開支援等</p>
人材バンク	食農連携コーディネーターバンク（FACOバンク）
連絡先、連絡方法	お住まいの都道府県の6次産業化サポートセンターへご連絡ください。
更新日	2012/10/24
備考	

[検索TOPへ戻る](#)

➤ 6次産業化サポート人材バンク（6さぼバンク）の紹介及び利活用の普及

6次産業化サポート人材バンク(6さぼバンク)は、平成24年10月24日にリニューアル稼働したが、それに先立ち、農林水産省、農政局、各県サポートセンターに対してチラシ(pdf形式)を配布し、6次産業化サポート人材バンクの使い方の紹介をおこなった。

また、当センターのメルマガ、食料産業クラスターメールマガジン(登録者約4,500名)を通じて6次産業化サポート人材バンクの紹介を行い、利活用の普及に努めた。

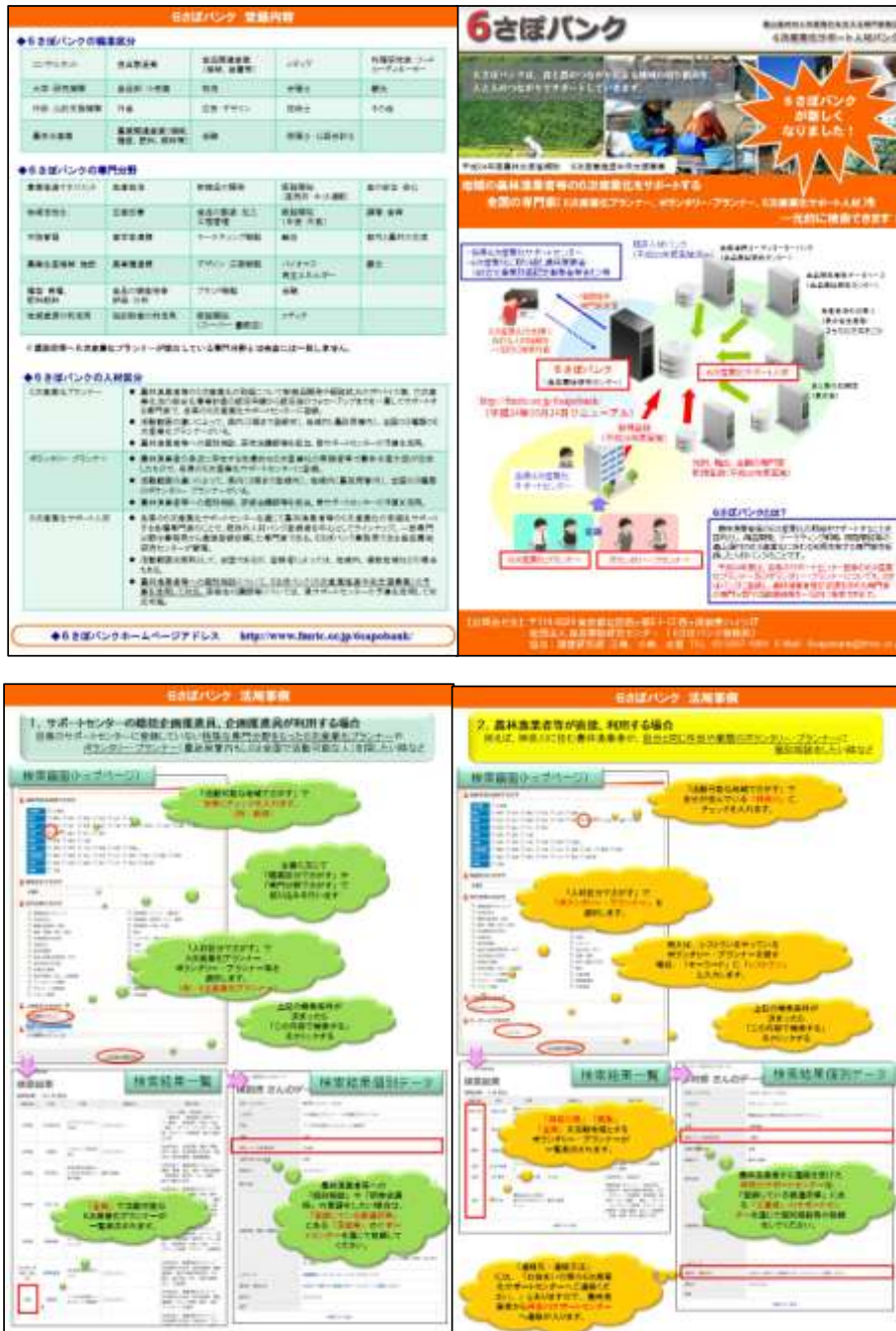


図 2-3 6さぼバンクの紹介チラシ(上段:表面、下段:裏面)

(2) 6次産業化サポート人材バンクの成果

▶ 6次産業化サポート人材バンク（6さぼバンク）の登録者属性

① 職業区分

6さぼバンクの平成24年度の登録者1,182名の属性のうち、職業区分についてみると最も多いのは「コンサルタント」で536名、次いで「農林水産業」が205名、「大学・研究機関」、「食品製造業」が76名などとなっている。

表 2-4 6さぼバンク登録者の職業区分

	平成23年度 (人数)	平成24年度 (人数)			
		6次産業化 サポート人材	6次産業化 プランナー	ボランティア・ プランナー	全体
コンサルタント	149	161	442	45	536
大学・研究機関	61	61	15	5	76
行政・公的支援機関	11	11	22	12	44
農林水産業	3	7	19	185	205
食品製造業	4	3	14	62	76
食品卸・小売業	4	4	21	31	52
外食	5	6	2	3	6
農業関連産業(機械、種苗、肥料、飼料等)	2	1	1	0	1
食品関連産業(機械、装置等)	0	0	0	0	0
物流	0	0	0	0	0
広告・デザイン	4	4	17	3	22
金融	0	1	13	3	17
メディア	1	1	4	2	6
弁理士	2	6	1	0	6
技術士	3	3	0	1	4
公認会計士・税理士	-	23	1	0	24
料理研究家・フードコーディネーター	11	9	2	6	15
観光	3	4	3	19	23
その他	10	6	35	32	69
登録者合計	273	311	612	413	1,182

注2:6次産業化サポート人材、6次産業化プランナー、ボランティア・プランナーを複数兼ねている場合があるので全体は、それぞれの合計とは一致しない。

②専門分野区分

6さぼバンクの平成24年度の登録者1,182名の属性のうち、専門分野区分についてみると最も多いのは「地域活性化」で742名、次いで「地産地消」が568名、「ブランド戦略」が532名、「マーケティング戦略」が530名、「事業推進マネジメント」が525名などとなっている(専門分野区分は平成23年度は一人3つまでの選択であったが、平成24年度は上限はない)。

表 2-5 6さぼバンク登録者の専門分野区分

	平成23年度 (人数)	平成24年度 (人数)			
		6次産業化 サポート人材	6次産業化 プランナー	ボランティア・ プランナー	全体
事業推進マネジメント	57	123	423	77	525
地域活性化	99	165	442	255	742
農業生産機械・施設	3	2	0	0	2
種苗・育種、肥料・飼料	4	10	53	31	86
地域資源の利活用	135	141	268	71	406
地産地消	16	90	317	250	568
産官学連携	32	95	285	73	374
食品の機能性等評価・分析	31	57	105	39	170
知的財産の利活用	6	27	94	14	116
新商品の開発	87	40	2	3	40
食品の製造・加工・加工工程	29	78	239	125	379
マーケティング戦略	94	139	424	75	530
デザイン・広報戦略	19	73	260	51	264
ブランド戦略	50	133	398	115	532
販路開拓(スーパー・量販店)	12	65	276	50	324
販路開拓(直売所・ネット販売)	14	86	394	109	503
販路開拓(中食・外食)	9	67	251	46	297
輸出	3	22	76	17	95
バイオマス	7	30	101	40	146
金融	4	47	129	13	167
メディア	2	46	178	43	215
食の安全・安心	28	41	79	26	126
調理・食育	22	62	148	164	329
都市と農村の交流	13	60	186	147	333
観光	9	58	210	89	294
生活改善	-	21	123	46	167
異業種連携	-	91	371	113	475
労務管理	-	11	96	8	103
登録者合計	273	311	612	409	1,182

注1:平成23年度は6次産業化サポート人材のみ。専門分野は3つまで。平成24年度は、該当するもの全て。

注2:6次産業化サポート人材、6次産業化プランナー、ボランティア・プランナーを複数兼ねている場合があるので全体はそれぞれの合計とは一致しない。

③活動できる地域区分

6さぼバンクの平成24年度の登録者1,182名の属性のうち、活動できる地域区分についてみると最も多いのは「全国」317名、次いで「都府県のみ」が317名、「関東地域」が110名、「九州地域」が64名、「北海道」が55名などとなっている。

表 2-6 6さぼバンク登録者の活動できる地域区分

	平成23年度 (人数)	平成24年度 (人数)			全体
		6次産業化 サポート人材	6次産業化 プランナー	ボランティア・ プランナー	
北海道	-	0	48	7	55
東北地域	-	5	36	6	44
関東地域	-	25	78	17	110
北陸地域	-	5	0	0	5
東海地域	-	15	29	8	42
近畿地域	-	7	1	0	7
中国四国地域	-	10	6	8	19
九州地域	-	21	35	21	64
沖縄	-	4	16	7	27
その他都府県のみ	-	24	156	160	317
全国	273	214	209	179	519
登録者合計	273	311	612	413	1182

注1: 複数地域を活動地域としている場合があるので、地域別合計は登録者合計と一致しない。

注2: 6次産業化サポート人材、6次産業化プランナー、ボランティア・プランナーを複数兼ねている場合があるので全体はそれぞれの合計とは一致しない。

➤ 6次産業化サポート人材バンク（6さぼバンク）のアクセス状況

6次産業化サポート人材バンク(6さぼバンク)へのアクセス状況は、平成25年3月末までの累計で114,043 ページビューであった。

平成24年度について月別にみると、最もアクセス数の多かったのが平成24年10月で10,900 ページビュー、平均アクセス数で見ると7,516 ページビューとなり、平成23年度の2倍以上となった。

また、コンテンツ別のアクセス状況を見ると、最も多かったのが人材バンク検索で23,457 ページビューで次いで平成23年度の活動支援プログラム結果報告書が15,445%、トップページが9,089 ページビューなどとなっている。

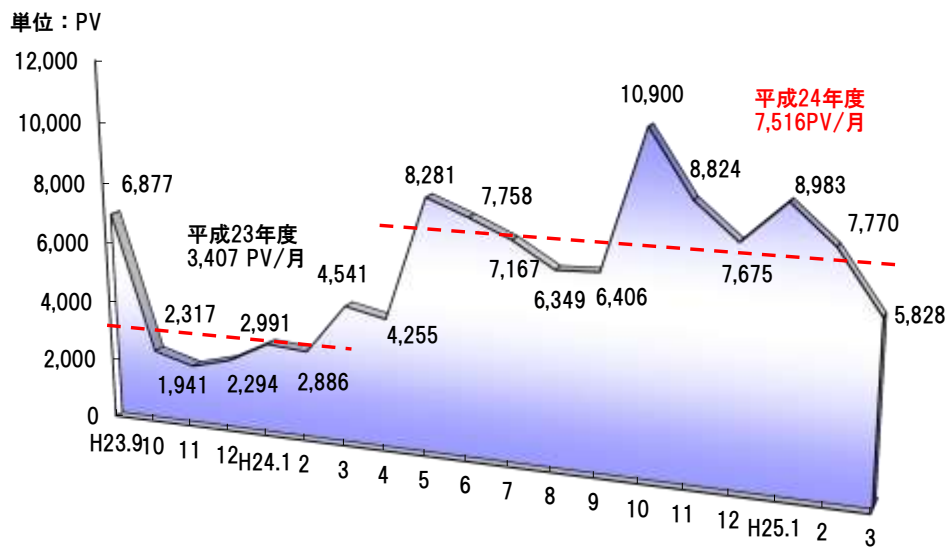


図 2-4 6次産業化サポート人材バンク(6さぼバンク)の月別アクセス状況

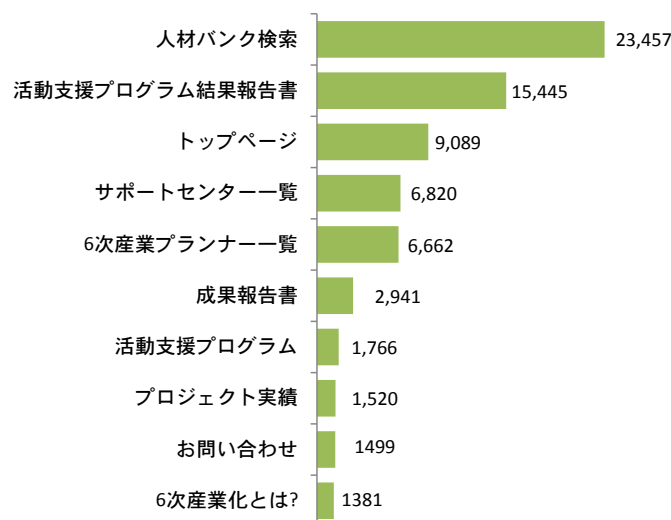


図 2-5 6次産業化サポート人材バンク(6さぼバンク)のコンテンツ別アクセス状況

3. 6次産業化サポート人材活動支援

(1) 6次産業化サポート人材活動支援の募集概要

地域における6次産業化に関する取組において、認定総合化事業計画または認定農工商等連携事業計画の取組等を支援するため、これら認定事業者等に6次産業化サポート人材を派遣し、地域における様々な課題に対する指導・助言などを目的とした、「サポート人材派遣」を実施した。

現在、各都道府県の6次産業化サポートセンターに登録された6次産業化プランナー及びボランティア・プランナーが、農林漁業者等の6次産業化の取組につながる案件の発掘や新商品開発・販路拡大のアドバイス、六次産業化法の認定申請から認定後のフォローアップまでを一貫してサポートしているところであるが、各県の6次産業化プランナー及びボランティア・プランナーだけでは対応できない取組を行う認定事業者等に6次産業化サポート人材の派遣を行った。

具体的には、地域の資源（農林水産物等）を活用した面的な広がり期待できるような県域をまたぐ取組や地域の食料産業が核となり異業種が連携する高い経済効果が期待できる取組、知財の利活用や輸出支援、ファンドを活用した経営支援等の専門性の高い支援を行う取組等に対して、6次産業化サポート人材が具体的なビジネス支援を行った。

募集の概要は下記の通りである。

表 3-1 サポート人材派遣 派遣先事業者募集要項（一部抜粋）

〔募集期間〕	第1次募集 平成24年11月5日(月)～平成24年11月30日(金) 第2次募集 平成25年1月7日(月)～平成25年1月31日(木)
〔募集対象〕	地域における6次産業化に関する取組において、認定総合化事業計画または認定農工商等連携事業計画の取組等を行っている事業者（これから認定を受けようとする事業者も可）
〔支援内容〕	6次産業化に取り組んでいる農林漁業者等に対する指導・助言に係る費用（謝金および旅費・交通費）を支援。特に以下のような取組。 ①面的な広がり期待できるような県域をまたぐ取組 ②異業種と連携する取組 ③知財の利活用、輸出支援等の高度な支援を必要とする取組 ④6次産業化サポートセンターでは対応が困難な課題に対応するための取組
〔支援対象〕	派遣に要する謝金および旅費・交通費
〔派遣期間〕	平成24年12月～平成25年3月中旬
〔支援対象数〕	8
〔応募方法〕	別紙『応募用紙』に必要事項をご記入の上、上記の締切りまでに、電子データ（E-Mail）にて送付。
〔活動結果〕	派遣終了後、派遣サポート人材は結果を食品需給研究センターに報告。

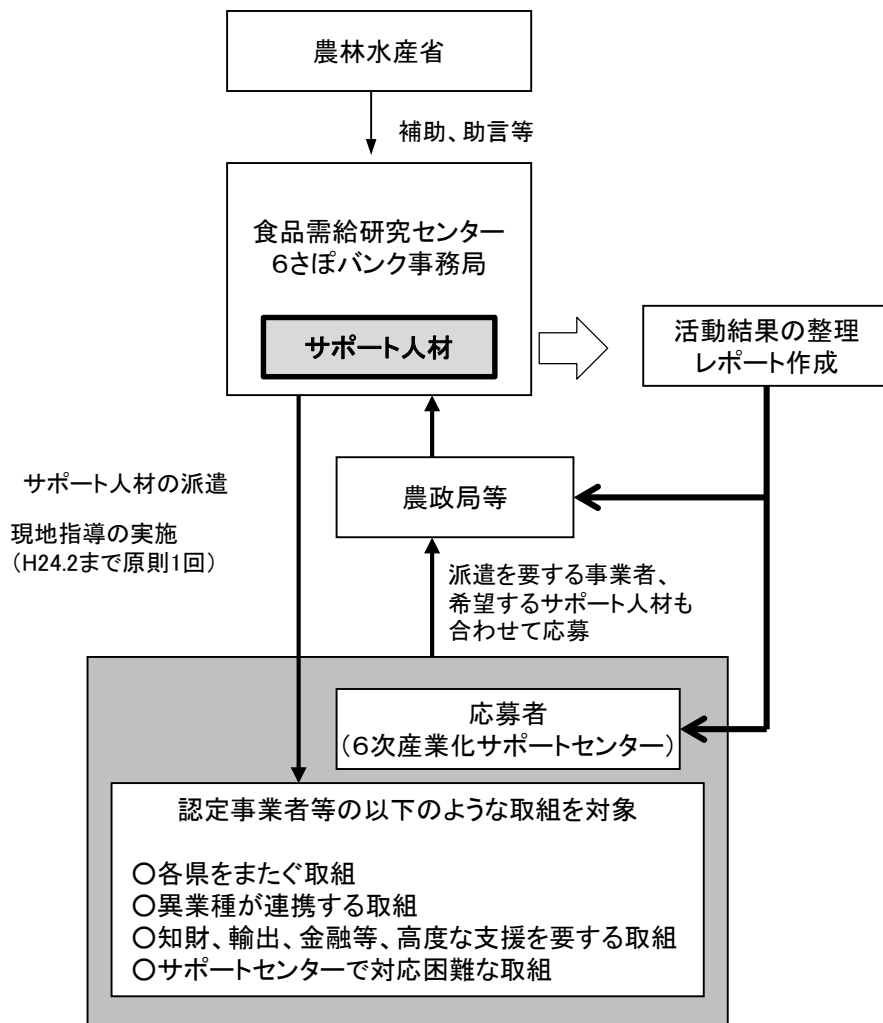


図 3-1 活動支援プログラム 実施スキーム

(2) 6次産業化サポート人材活動支援の実施概要

6次産業化サポート人材活動支援プログラム(サポート人材派遣)における派遣先事業者の募集の結果、5つの事業者に対して8名のサポート人材の派遣が決定した。派遣先の事業者に対して平成25年2月～平成25年3月にかけて1～2日間、現地指導を行った。

表 3-2 サポート人材派遣 実施概要

派遣先事業者	派遣サポート人材	指導分野	派遣日
A社(鹿児島県)	上野 祐子	マーケティング	平成25年3月4日
	橋本 祐充子	農家レストラン	平成25年3月11日～12日
B社(鹿児島県)	野本 功司	輸出	平成25年3月4日
	加藤 寛昭	マーケティング	平成25年3月13日
	佐藤 芳範	機能性食品の開発	平成25年3月18日
C社(香川県)	西浦 嗣晴	意匠登録・商標登録	平成25年2月23日
D社(山口県)	田中 敏夫	商品開発	平成25年3月23日
E社(兵庫県)	岸本 純子	商品開発	平成25年3月27日～28日

表 3-3 活動支援プログラムにおける派遣実施要領

「平成 24 年度 6 次産業化サポート人材活動対策事業」における
6 次産業化サポート人材活動支援(サポート人材派遣) 実施要領

1. 趣旨

この要領は、社団法人食品需給研究センター（以下、「需給センター」という。）が実施する農林水産省補助事業「平成 24 年度 6 次産業化サポート人材活動対策事業」における 6 次産業化サポート人材活動支援（以下、「サポート人材派遣」）の実施について必要な事項を定めるものとする。

2. 目的

平成 24 年度 6 次産業化サポート人材活動対策事業におけるサポート人材派遣は、6 次産業化に関する取組において、認定総合化事業計画または認定農工商等連携事業計画の取組等を支援するため、県 6 次産業化サポートセンターの要請に応じて、これら認定事業者等に 6 次産業化サポート人材を派遣し、地域における様々な課題に対する指導・助言等を行うことを目的とする。

3. 現地に派遣されるサポート人材の服務

県 6 次産業化サポートセンターの要請に応じて認定事業者等に派遣されるサポート人材（以下、「派遣サポート人材」という。）は、業務の遂行にあたり、次の事項を遵守しなければならない。

(1) 結果報告

「派遣サポート人材」は、需給センターの求めに応じて、指導・助言の結果等について報告するものとする。

(2) 守秘義務

「派遣サポート人材」は、業務上知り得た秘密を漏らし、又は盗用してはならない。「派遣サポート人材」としての業務が終了した後も同様とする。

4. 派遣回数及び時間

サポート人材派遣において、現地に派遣する回数は、原則として 1 回とするが、需給センターの判断により複数回派遣することも可能とする。また、1 回当たりの派遣時間は、原則として 3 時間以内とし、この場合において、派遣場所までの往復の移動時間は含まないものとする。

5. 派遣スケジュールの調整

認定事業者等への派遣のスケジュール調整は、「派遣サポート人材」と県 6 次産業化サポートセンターが協議の上、決定することとする。

6. 報告書の提出

「派遣サポート人材」は、派遣が終了後、概ね 1 週間以内に、結果報告書（様式 1）を作成し、需給センターに提出しなければならない。結果報告書（様式 1）は、1 枚（1 枚当たり A4・2400 文字相当）とし、認定事業者等の現状と「派遣サポート人材」の指導・助言の内容

が分かるように記述すること。

7. 「派遣サポート人材」への謝金・原稿料及び旅費の額

謝金、原稿料及び旅費の額は以下のとおりとする。

(1) 謝金

派遣1回 1時間当たり10,000円とする。(3時間を上限とする)

(2) 原稿料

結果報告書(様式1)の原稿料は、400字当たり3,000円とする。

(3) 旅費

旅費は、需給センター旅費規程に準じて支給する。原則として、公共交通機関を利用することとし、やむを得ない事情がある場合にはタクシーを利用することができる。旅費の基点は、「派遣サポート人材」の自宅もしくは勤務地とし、派遣先まで算出した額のうちいずれか、低い額とする。

8. 「派遣サポート人材」への謝金・原稿料及び旅費の支払い

需給センターは、「派遣サポート人材」から結果報告書(様式1)の提出を受けたときは、速やかにその内容を審査し、適当と認めるときは、「派遣サポート人材」に謝金、旅費及び原稿料を支払うものとする。

9. その他

この要領に定めるもののほか、サポート人材の派遣実施に関し必要な事項は、別に定める。

附則

この要領は、平成24年10月22日から施行する。

表 3-4 活動支援派遣のサポート人材の概要(6次産業化サポート人材バンクより抜粋)

上野祐子さんのデータ

人材区分	6次産業化プランナー、6次産業化サポート人材
所属	株式会社上野流通戦略研究所
役職	代表取締役
登録している都道府県	福井県
活動可能な地域	全国
職業区分	コンサルタント
専門分野	地域活性化、地産地消、産学官連携、異業種連携、食品の機能性等評価・分析、ブランド戦略、販路開拓（スーパー・量販店）、販路開拓（中食・外食）、観光、メディア、マーケティング戦略、デザイン・広報戦略、都市と農村の交流、
活動実績、講演、著書等	高知県黒潮町「もどりかつおの薫焼きイベント」による消費地PR（2011～2012年）の活性化指導・コンサルティング 滋賀県の植物工場企業で栽培されるアイスプラントの販売先ルート及びクルーズ客船等開拓（2011～2012年）・植物工場事業展開コンサルティング 滋賀県ピワマスの地元料理学園・料亭・レストラン・料理旅館・料理店による商品化企画・試作品料理・レシピ開発コンペ及び試食会(2010～2011年) 愛媛県網元のSM及び飲食店への業務用鮮魚・塩干物宅配ルート開拓支援事業（2010年～） 【講演】「新商品開発と地域活性化」高知県四万十市 2011年1月
人材バンク	食農連携コーディネーターバンク (FACOバンク)
連絡先、連絡方法	お住まいの都道府県の6次産業化サポートセンターへご連絡ください。
更新日	2012/10/24
備考	

橋本祐充子 さんのデータ

人材区分	6次産業化プランナー、6次産業化サポート人材
所属	はしや
役職	代表
登録している都道府県	佐賀県
活動可能な地域	全国
職業区分	コンサルタント
専門分野	地域活性化、事業推進マネジメント、地産地消、食品の機能性等評価・分析、ブランド戦略、販路開拓（直売所・ネット通販）、販路開拓（中食・外食）、マーケティング戦略、食品の製造・加工・工程管理、調理・食育、
活動実績、講演、著書等	<p>地域資源活用の食展開（農家レストランコンサルティング等）、新商品開発、地域の郷土料理開発などをマネージメント(2004～)、凍結含浸法による機能性食品の開発（ライセンス取得、経済産業省 農商工連携事業コンサルタント(2010～)、佐賀県武雄市山内町 野のもてなし料理 なな菜 コンサルタント(2004～)</p> <p>佐賀県 佐賀アグリビズアドバイザー、長崎県 6次産業化アドバイザー</p> <p>「著書」 橋本流かんたんレシピ本 出版（佐賀新聞社、2008）、「著書」 橋本流かんたんレシピ保存版 出版（佐賀新聞社、2010）</p> <p>西九州大学短期大学部食物栄養学科 非常勤講師、佐賀県立農業大学校 非常勤講師</p>
人材バンク	
連絡先、連絡方法	お住まいの都道府県の6次産業化サポートセンターへご連絡ください。
更新日	2012/11/1
備考	

野本功司 さんのデータ

人材区分	6次産業化サポート人材
所属	N TRADE SUPPORT
役職	代表
登録している都道府県	6さぼバンク事務局
活動可能な地域	全国
職業区分	コンサルタント
専門分野	輸出、マーケティング戦略、事業推進マネジメント、
活動実績、講演、著書等	<p>ジェトロ 農林水産事業部 海外市場開拓コーディネーター（2011年1-3月、食品・農水産物）として2011.3フードクス開催時のジェトロ本部主催「食品輸出商談会」、及び千葉、松江、熊本での同種催事をサポート</p> <p>ジェトロ、ウェブサイトJ-FILE, 貿易・投資相談Q&Aコンテンツ執筆及び更新作業に従事中 愛媛県経済労働部 海外販路開拓相談会（食品）2005.10、ジェトロ金沢 「食品輸出関心企業」個別相談会 2007.02、ジェトロ本部 「食品輸出事前セミナー」 有効な資料準備と商談後のフォロー 2011.03</p> <p>国際食品・飲料展（フードクス） ジェトロゾーン、対海外出展者向け貿易コンサルティングに従事 2000～2008年</p> <p>ジェトロ、貿易開発部より開発途上国対日輸出促進事業に短期専門家（食品）として2度に亘り中南米各国へ派遣（8カ国を訪問）</p>
人材バンク	
連絡先、連絡方法	6さぼバンク事務局へご連絡ください。
更新日	2012/10/24
備考	

加藤寛昭 さんのデータ

人材区分	ボランティア・プランナー、6次産業化サポート人材
所属	食と農研究所
役職	代表/中小企業診断士
登録している都道府県	千葉県
活動可能な地域	全国
職業区分	コンサルタント
専門分野	事業推進マネジメント、地域活性化、地域資源の利活用、地産地消、産学官連携、異業種連携、ブランド戦略、販路開拓（スーパー・量販店）、販路開拓（直売所・ネット通販）、販路開拓（中食・外食）、知的財産の利活用、マーケティング戦略、デザイン・広報戦略、食品の製造・加工・工程管理、都市と農村の交流、
活動実績、講演、著書等	<p>教育・講演活動：農商工連携や六次産業化推進のための講演活動やその為の人材育成事業で活動中（平成22年度約90件）。工業と農業での実務経験があり、農・商工双方の立場からの複眼的思考で対応できるのが強み）</p> <p>食料産業クラスター機能高度化支援事業における、地域食品商品改善支援、地域食品製造業支援施策・食品製造企業診断実施（平成22年度34社）</p> <p>地域食品ブランド育成・管理支援事業におけるコーディネート、ブラッシュアップび販路拡大の支援（干し柿・岐阜、味噌・三重県、緑茶・三重県、漬物・熊本・北海道、乳製品・群馬、トマトジュース北海道他）</p> <p>中山間地域等の活性化を狙いとした直売所の設立、事業企画策定支援（群馬県、兵庫県、静岡県、千葉県他）</p> <p>地域活性化事業の取組：熊本県Y町の生き残り戦略や、奄美大島における黒豚プロジェクト推進に向けたランドデザイン構築・展開支援等</p>
人材バンク	食農連携コーディネーターバンク（FACOバンク）
連絡先、連絡方法	お住まいの都道府県の6次産業化サポートセンターへご連絡ください。
更新日	2012/10/24
備考	

佐藤芳範 さんのデータ

人材区分	6次産業化プランナー、6次産業化サポート人材
所属	おかやま食料産業クラスター協議会
役職	コーディネーター
登録している都道府県	岡山県
活動可能な地域	中国四国
職業区分	コンサルタント
専門分野	地域活性化、生産改善、地域資源の利活用、地産地消、産学官連携、食品の機能性等評価・分析、バイオマス・再生エネルギー、知的財産の利活用、食の安全・安心、食品の製造・加工・工程管理、調理・食育、
活動実績、講演、著書等	H14年～H19【バイオアクティブおかやま】プロジェクトマネージャーとして機能性食品の開発に従事 H19年よりおかやま食料産業クラスター協議会コーディネーターとして機能性食品開発に従事 H14年～H19年香川支援財団希少糖プロジェクト事業化戦略アドバイザー 静岡中部都市エリア産学官連携促進事業でバイオアクティブおかやまの活動について講演 東三河地域産学官連携フォーラムでバイオアクティブおかやまの活動機能性食品開発について講演
人材バンク	
連絡先、連絡方法	お住まいの都道府県の6次産業化サポートセンターへご連絡ください。
更新日	2012/10/24
備考	

西浦嗣晴 さんのデータ

人材区分	6次産業化サポート人材
所属	西浦特許事務所
役職	所長
登録している都道府県	6さぼバンク事務局
活動可能な地域	全国
職業区分	弁理士
専門分野	知的財産の利活用、ブランド戦略、
活動実績、講演、著書等	<p>発明相談会：「沖縄産学官イノベーションフォーラム」2008年12月3日</p> <p>【講演】「食料産業における知的財産の戦略的利活用セミナー」：国立京都国際会館ifaイベントホール：2007年11月30日</p> <p>【講演】「食料産業における知的財産の戦略的利活用」：沖縄産業支援センター：2008年12月3日</p> <p>【著書】「食品産業事業者における知的財産の利活用を目指してー知的財産ー」リーフレットの監修</p> <p>【著書】「食品産業事業者における知的財産の利活用を目指してー情報の活用ー」リーフレットの監修</p>
人材バンク	食農連携コーディネーターバンク (FACOバンク)
連絡先、連絡方法	6さぼバンク事務局へご連絡ください。
更新日	2012/10/24
備考	

田中敏夫 さんのデータ

人材区分	6次産業化サポート人材
所属	田中経営研究所
役職	代表（中小企業診断士）
登録している都道府県	6さぼバンク事務局
活動可能な地域	全国
職業区分	コンサルタント
専門分野	地域資源の利活用、新商品の開発、マーケティング戦略、
活動実績、講演、著書等	<p>2010年1月：土佐鯉水産(株)と豊国丸漁業組合による一本釣り鯉の海外販売</p> <p>2009年11月：富士物産(株)と長谷川製茶による、冷凍とろろの製造・販売</p> <p>2009年11月：大生機設(株)と井出種畜牧場によるナチュラルチーズの製造</p> <p>2010年1月：(株)戸田建設による奥浜名湖の観光資源活用事業</p> <p>2009年11月：(株)いちまるによる焼津の水産加工品を使った新商品開発</p>
人材バンク	食農連携コーディネーターバンク (FACOバンク)
連絡先、連絡方法	6さぼバンク事務局へご連絡ください。
更新日	2012/10/24
備考	

岸本純子 さんのデータ

人材区分	ボランティア・プランナー、6次産業化サポート人材
所属	株式会社ナレッジリンクス
役職	代表取締役
登録している都道府県	島根県
活動可能な地域	全国
職業区分	コンサルタント
専門分野	地域活性化、事業推進マネジメント、地域資源の利活用、地産地消、産学官連携、異業種連携、ブランド戦略、販路開拓（スーパー・量販店）、販路開拓（直売所・ネット通販）、販路開拓（中食・外食）、メディア、マーケティング戦略、デザイン・広報戦略、食品の製造・加工・工程管理、調理・食育、
活動実績、講演、著書等	<p>隠岐産品開発・販路開拓支援事業（離島）全体コーディネーター（2009年度～2010年度）</p> <p>『津和野式冬虫夏草酒』と関連商品の開発と販路拡大事業（金彩津和野）全体コーディネーター（2009年度～現在）</p> <p>知夫村（隠岐）産業創出計画 産業創出をプロデュース（2009年度）</p> <p>奥出雲黒豚販路支援 プロデュース</p> <p>鳥取県「売れる新商品開発事業」（2010～）</p>
人材バンク	食農連携コーディネーターバンク（FACOバンク）
連絡先、連絡方法	お住まいの都道府県の6次産業化サポートセンターへご連絡ください。
更新日	2012/10/24
備考	

平成 24 年度 6 次産業推進中央支援事業（6 次産業化サポート人材活動支援） 成果報告書

本報告書中に記載された内容について、転載、複写・複製、電子媒体等への転用を禁じます。

実施主体: 社団法人 食品需給研究センター

〒114-0024 東京都北区西ヶ原 3-1-12

TEL (03)5567-1991 FAX (03)5567-1960

業務担当 : 江端一成、関根隆夫、小野一弘、小林伸吉、志賀麻理子、清水ちはる
